

まちづくりチャレンジ協働事業補助金実績報告書

2026年 3月 26日

NPO法人
恵庭市市民活動センター運営協議会
理事長 様

団体名 やさしい日本語教室 inENWA 実行委員会

住所

申請者 氏 小橋 薫

電話

2025年 7月 8日付特恵活第22号をもって交付決定のあった恵庭市まちづくりチャレンジ協働事業補助金に係る実績報告について、恵庭市まちづくりチャレンジ協働事業補助金交付要綱に基づき交付された補助金の交付に関する事務手続き要領第10条の規定により下記のとおり報告します。

記

- 協働事業の名称 : やさしい日本語教室 inENWA
- 補助金交付決定額 50,000 円
- 補助対象事業の決算額 57,850 円
- 実施期間 令和7年 4月 1日 から 令和8年 2月 28日 まで
- 添付書類
 - まちづくりチャレンジ協働事業報告書（様式第13号）
 - まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支決算書（様式第14号）
 - その他理事長が必要と認める書類



まちづくりチャレンジ協働事業報告書

協働事業の名称	やさしい日本語教室 inENIWA		
団体名	やさしい日本語教室 inENIWA 実行委員会	実施場所	えにあす
担当課	企画課		

協働事業の実施状況 ※いつ、どこで、なにを、どうしたか記入してください。	令和7年6月～令和8年2月まで、えにあすにて技能実習生及び在留外国人に日本語教室を実施。主に JLPTN4・N3 の試験対策及び日本文化・恵庭市の紹介や防災に関する講習実施（35名が参加）
協働事業の成果 ・事業内容の成果 ・協働で取り組んだことの効果 等	団体の成果 当初目標であるN4は1名(インドネシア)・N3(ネパール2名・ベトナム1名受験において4名の合格者を得ることが出来た。
	担当課の成果 ・市及び別団体が主体となって運営する「日本語ひろば「えにわ」」の参加者へも周知するなどして連携できた。
協働事業の実施時における役割分担	団体の役割 JLPTにおける資格習得。生活相談等
	担当課の役割 サロン等のボランティア支援者の募集、広報支援
次年度以降の見通しと課題	団体として 引き続き資格習得
	担当課として 外国人の JLPT 等の資格取得に対するニーズは一定数存在することが判っているが、市内において学習支援者は多くないことが課題。そのため本活動は意義の高いものであり、今後もさらなる活躍を期待したい。
	共通して 社会における日本語会話の向上

※ 周知用チラシや実施時に記録した写真等を添付してください。

※ 記載欄が不足する場合は別途資料を添付しても構いません。

* 自己評価

評価欄にあてはまる数字を記入してください。

- 4…できた（非常にあった）
- 3…概ねできた（あった）
- 2…あまりできなかった（あまりなかった）
- 1…ほとんどできなかった（ほとんどなかった）

項目	評価者	評価	1や2の場合、その理由
課題や目的を共有することができたか	団体	3	
	担当課	3	
目的は達成できたか	団体	3	
	担当課	3	
計画どおり進めることができたか (事業費、実施体制、自主自立性等)	団体	3	
	担当課	3	
市民ニーズは反映されたか (不特定多数の利益、まちづくりへの寄与等)	団体	3	
	担当課	3	
互いの役割分担ははっきりできたか	団体	3	
	担当課	3	
協働で事業実施をした効果があったか	団体	3	
	担当課	3	

まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支決算書

協働事業の名称： やさしい日本語教室 inENIWA

1 収入

(単位：円)

項 目	金 額		説 明 (積算等)
	予算	決算	
補助金	50,000	50,000	まちチャレ協働事業補助金
団体負担金	0	7,850	
合 計	50,000	57,850	

2 支出

(単位：円)

項 目	金 額		説 明 (積算等)
	予算	決算	
賃借料	20,000	6,650	市民活動センター会議室使用料
教材費	20,000	40,700	N2~N5 テキスト代
印刷・製本費	10,000	10,500	コピー代
合 計	50,000	57,850	

※ 支出証拠書類等の写しを添付してください。





